

浜岡原子力発電所4号機で使用するMOX燃料の製造体数の変更について

平成 20 年 9 月 22 日

当社は、浜岡原子力発電所4号機のプルサーマルで使用するウラン・プルトニウム混合酸化物燃料（MOX燃料）を、フランスのメロックス工場で製造することとしており、フランス現地時間で5月5日（日本時間で5月6日）より、製造を開始しています。

（平成20年5月7日お知らせ済み）

その後のMOX燃料の製造にかかわる状況をお知らせします。

MOX燃料の製造に必要な部材は、国内燃料メーカーが製造を行いフランスのメロックス工場に供給していますが、供給部材である燃料被覆管の一部の表面に油の付着が認められました。

この油を調査した結果、輸送時に使用した梱包材に僅かに付着していたものが被覆管に転写したものとわかりました。油は容易にふき取ることができ、燃料の健全性に影響するものでないことも確認しましたが、フランス関係者、国内燃料メーカーおよび当社の間で協議し、慎重を期して油が付着した可能性のある被覆管を使用しないこととしました。

その後、国内燃料メーカーから、再度、追加の被覆管を供給しましたが、調査等に期間を要したため、MOX燃料の製造体数を、48体（当初予定）から28体に変更することとしました。

なお、製造体数を48体から28体に変更することに伴い、本日、経済産業省に対し、輸入燃料体検査申請書の内容変更を行いました。

